

バージョン 4.2.0 におけるプログラム更新処理について

2008 年 4 月診療報酬改定対応については、3 月下旬にバージョン 4.2.0 としてパッケージを提供しました。このパッケージは、改定後の日次業務（患者登録、点数算定など）の範囲について対応したものです。月次業務（レセプト作成、診療報酬請求書作成など）については、今回初めてパッケージではなくパッチプログラムとして提供を行うことになりました。

パッチプログラムを適用するにあたり、今までのプログラム更新処理では発生しなかった、手動による日レセ再起動を行わなければならない場合が発生しますので、ご留意ください。なお、プログラム更新処理を行う度に再起動が必要となるわけではありません。

注意事項

バージョン 4.2.0 パッケージにおいて日レセの起動停止スクリプト（/etc/init.d/jma-receipt）を変更しました。今回のプログラム更新による日レセ再起動の仕組みが正しく機能するには、最新の起動停止スクリプトがインストールされていなければいけません。

起動停止スクリプトを変更されていた場合、バージョン 4.2.0 パッケージのインストール時に置き換えを行うかの問い合わせが表示されたと思いますが、デフォルトで進めた場合、置き換えは行われません。その場合、/etc/init.d/jma-receipt.dpkg-dist というファイルが存在していると思います。このファイルがパッケージに含まれていた起動停止スクリプトですので

```
$ sudo mv jma-receipt.dpkg-dist jma-receipt
```

で置き換えを行ってから必要な変更をしてください。

処理概要

1. プログラム更新処理を行います。
日レセの再起動が必要になる場合がありますので、処理を起動する端末以外の端末は終了してください。
2. プログラム更新画面で“処理は正常に終了しました。”と表示されたら「戻る」ボタンでマスターメニューへ戻ります。
3. 「01 医事業務」を選択します。
“日レセを再起動してください。”とダイアログが表示されたら端末を終了させます。自動では日レセサーバの再起動を行いませんので、**手動にて再起動を行ってください。**

再起動の方法

全ての日レセ端末を終了させてから行ってください。

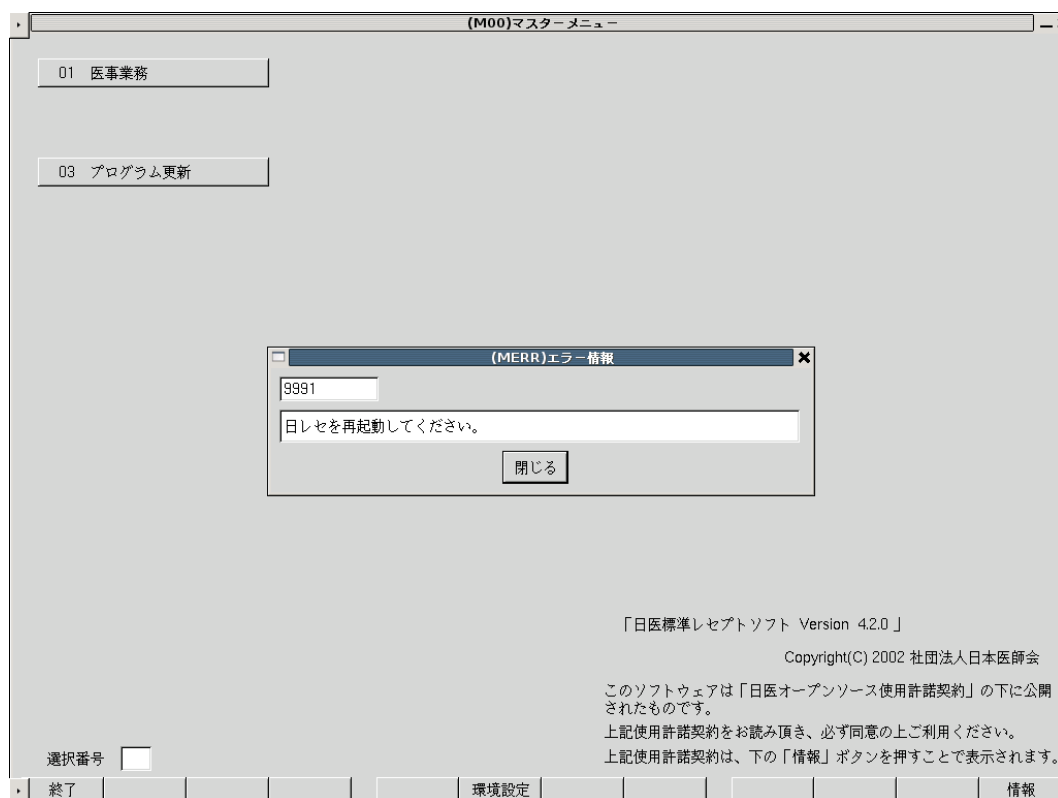
ターミナルプログラム(gnome-terminal, kterm など)から以下のコマンドを入力します。(root 権限が必要)

```
# /etc/init.d/jma-receipt restart
```

sudo の設定がある場合は以下のコマンドでも行えます。

```
$ sudo /etc/init.d/jma-receipt restart
```

ベンダー等のセットアップにより再起動のアイコンが作成されている場合は、それを使用して再起動を行ってください。また、コマンド入力による再起動の方法がよく分からない場合は、サーバマシンの再起動を行ってください。



4. 日レセの再起動を行うまでは、「01 医事業務」を選択して業務メニューを表示しても、全て業務処理が選択できない状態になります。

日レセの再起動を行うと業務処理が行えるようになります。

